

現地開催



第2回 HAMILTON-Clinical-Support-Meeting in 島根

日時 2025年1月17日(金) 18:30~19:30

会場案内図

会場 島根大学病院 ゼブラ棟2F だんだん



座長 島根大学医学部麻酔科学講座 教授
島根大学医学部附属病院 手術部/集中治療部 部長
島根大学医学部附属病院 集中治療科

二階 哲朗 先生

庄野 敦子 先生

演題 人工呼吸器を用いて、正しく肺メカニクスを評価してみよう
-Hamilton Medical G5/C6を用いた管理-

演者 自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 部長 方山 真朱 先生

演題 Hamilton臨床活用事例 ~画像から紐解くP/V tool~

演者 自治医科大学 医学部 麻酔科学・集中治療医学講座
集中治療医学部門 助教 藤内 研 先生

申込QRコード

申込について

お申込みは、12月2日(月)より1月16日(木)まで、こちらのURLまたはQRコードで承ります。
<https://nihonkohden.rsvsys.jp/reservations/event/449>お申し込みを受信後、受付完了メールをお送りします。



演題

**人工呼吸器を用いて、正しく肺メカニクスを評価してみよう
-Hamilton Medical G5/C6を用いた管理 -**

演者

自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 部長 **方山 真朱** 先生

正しく肺メカニクスを評価することは、患者さんの肺や命を守る上で非常に重要です。なぜならば、人工呼吸器の管理は、常に肺を損傷する可能性があるからです。そのため、経時的に肺メカニクスの評価を繰り返し行うことが不可欠です。

肺メカニクスの評価を行うツールとして人工呼吸器が挙げられます。人工呼吸器は患者さんの肺を換気しながら情報をモニタリングしているため、その情報を正しく理解することが極めて有用です。しかし、人工呼吸器による情報を正確に解釈するためのトレーニング機会は限られています。また、人工呼吸器には肺メカニクスを評価するための多様な機能が搭載されていますが、これらを適切に活用するには知識と実践が求められます。

本講演では、Hamilton Medical社の人工呼吸器を用いて肺メカニクスの評価方法を基礎から分かりやすく解説します。さらに、肺メカニクスの評価に必要な人工呼吸器の機能について、実際の症例を交えながら詳しく説明します。本講演を通じて、みなさんが患者さんの肺メカニクスを実際に評価できるスキルを身につけられるようなお手伝いができればと考えています。

演題

Hamilton臨床活用事例 ～画像から紐解くP/V tool～

演者

自治医科大学 医学部 麻酔科学・集中治療医学講座
集中治療医学部門 助教**藤内 研** 先生

Pressure Volume Curve (PV-curve) は肺のメカニクス評価の重要な方法の一つであり、Hamilton Medical社の人工呼吸器に搭載されています。このツールは、肺メカニクスの評価、リクルータビリティの評価、さらにはリクルートメント手技など、さまざまな臨床応用が可能です。しかし、実際に肺内でどのような変化が起きているのか、PV-curveの各ポイントが何を意味しているのかを具体的にイメージするのは容易ではありません。

本講演では、イメージングモダリティを使用してPV-curveの臨床的意義を分かりやすく解説します。さらに、特殊なイメージング機器を使用しなくてもPV-curveから病態を想定し、明日からの臨床に役に立つtipsを伝えられればと考えております。